

問1 7世紀半ば、朝鮮半島では新羅が唐と結んで勢力を広げ、百済を滅ぼしました。これを受けて、当時の日本（倭国）がとった行動とその結果として正しいものはどれですか。（2015年 佐賀公立入試 類似）

1. 百済の再興を支援するために朝鮮半島へ大軍を送ったが、白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗した。
2. 高句麗の再興を支援するために朝鮮半島へ大軍を送ったが、白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗した。
3. 唐と結んで朝鮮半島での権益を確保しようとしたが、白村江の戦いで新羅の軍勢に敗北した。
4. 元（モンゴル帝国）の侵攻を阻止するために朝鮮半島へ出兵したが、文永の役で大敗を喫した。

問2 7世紀半ばまでの日本が、遣隋使や初期の遣唐使を派遣して中国の王朝と交流を持った主な目的として、最も適切な説明はどれか。（2024年 大分県公立入試 類似）

1. 中国の進んだ制度や文化を取り入れることで、国内の政治体制を整え国力を高めるため。
2. 全国的な戸籍を効率よく作成し、民衆から重い税を確実に徴収する技術を習得するため。
3. 東大寺の大仏建立に必要な銅を確保し、仏教による国の安定を図るための技術協力を求めるため。
4. 白村江の戦いにおいて中国の王朝を軍事的に支援し、朝鮮半島での領土を拡大するため。

問3 8世紀ごろの東アジアの情勢を説明した次の文章において、空欄に当てはまる語句の組み合わせとして正しいものはどれか。「中国大陸では（ ① ）が広大な領土を支配しており、その都である長安は国際色豊かな都市として栄えた。また、同時期の朝鮮半島では（ ② ）が半島を統一しており、日本とも活発な交流があった。」（2018年 大分県公立入試 類似）

1. ①：唐、②：新羅
2. ①：隋、②：高句麗
3. ①：漢、②：百済
4. ①：宋、②：高麗

問4 法隆寺が現在も世界的に高く評価されている最大の理由として、建築史の観点から正しい説明を選びなさい。（2015年 長崎県公立入試 類似）

1. 現存する木造建築物の中で、世界で最も古いものであるため。
2. 日本で初めて、レンガと石材を組み合わせて作られた寺院であるため。
3. 江戸時代に徳川家光によって再建された、国内最大の木造建築であるため。
4. 大陸の影響を一切受けずに、日本固有の技術のみで設計された最初の寺院であるため。

問5 7世紀の日本における政治的な変遷と、その背景について述べた文章として最も適切なものはどれか。（2022年 千葉県公立入試 類似）

1. 中大兄皇子らは、蘇我氏による権力の独占を打破するために大化の改新を開始し、白村江の戦いで敗北を契機に、外敵への防衛を意識した中央集権体制の整備を急いだ。
2. 聖徳太子は、白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗れたことを受け、仏教の力で国を安定させるために、世界最古の木造建築である法隆寺の建立に着手した。
3. 壬申の乱に勝利した天武天皇は、混乱した社会を鎮めるために聖武天皇の政策を引き継ぎ、全国に国分寺や国分尼寺を建立する詔を出した。
4. 白村江の戦いによって朝鮮半島での影響力を拡大させた日本は、蘇我氏を中心とした強力な貴族連合政治を確立し、天皇を象徴とする国家体制を築いた。

問6 7世紀から8世紀にかけて、日本が天皇を中心とした法に基づく国家体制（律令国家）を整備していった過程について、出来事を時系列に沿って正しく並べたものはどれですか。（2019年 和歌山公立入試 類似）

1. 十七条の憲法の制定 → 公地公民の方針の提示 → 近江大津宮への遷都 → 藤原京への遷都
2. 公地公民の方針の提示 → 十七条の憲法の制定 → 藤原京への遷都 → 近江大津宮への遷都
3. 十七条の憲法の制定 → 近江大津宮への遷都 → 藤原京への遷都 → 公地公民の方針の提示
4. 藤原京への遷都 → 十七条の憲法の制定 → 公地公民の方針の提示 → 近江大津宮への遷都

問7 法隆寺の五重塔などの伝統的な建築物には、地震の揺れを逃がす仕組みとして「心柱（しんばしら）」という技術が使われています。この心柱の構造を応用し、中心部に鉄筋コンクリート製の筒を配置して制振効果を高めている現代の建造物を選びなさい。（2020年 徳島公立入試 類似）

1. 東京スカイツリー
2. 瀬戸大橋
3. 東京都庁舎
4. 明石海峡大橋

問8 飛鳥時代後半から奈良時代にかけての貨幣の歴史について、正しい説明を述べているものを次の中から選びなさい。（2019年 秋田県公立入試 類似）

1. 天武天皇の時代に、わが国最初の銅銭である富本銭が鑄造された。
2. 和同開珎は、日本で初めて鑄造された銀銭として全国に普及した。
3. 富本銭は、平城京への遷都を記念して藤原不比等によって作られた。
4. 当時の政府は、貨幣の流通を促進するために蓄銭叙位令を廃止した。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 百済の再興を支援するために朝鮮半島へ大軍を送ったが、白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗した。	当時の朝鮮半島では、唐と新羅が連合して百済や高句麗を圧迫していました。660年に百済が滅亡すると、日本は古くから交流のあった百済の再興を助けるために朝鮮半島へ出兵しました。しかし、663年に錦江の河口付近（白村江）で行われた戦いにおいて、唐・新羅の連合軍に圧倒的な軍事力の差で敗れました。これにより、日本は朝鮮半島における拠点を完全に失うこととなりました。
問2	答え 1 中国の進んだ制度や文化を取り入れることで、国内の政治体制を整え国力を高めるため。	当時の日本は、中国の高度な政治制度（律令制）や仏教、芸術、学問などを組織的に導入することで、中央集権的な国家体制を確立しようとしていました。白村江の戦いよりも前の時期から行われていたこれらの派遣は、国内の制度改革を主眼に置いたものであり、奈良時代の聖武天皇による大仏建立や、後の時代に行われる政策とは背景が異なります。
問3	答え 1 ①：唐、②：新羅	7世紀後半、唐は朝鮮半島の新羅と結んで百済と高句麗を滅ぼしました。その後、新羅は唐の勢力を半島から退けて統一を果たします。8世紀は、中国では唐が全盛期を迎え、朝鮮半島では統一新羅が安定した統治を行っていた時期に当たります。
問4	答え 1 現存する木造建築物の中で、世界で最も古いものであるため。	法隆寺の西院伽藍は、7世紀後半から8世紀初頭にかけて再建されたものと考えられていますが、それでも1300年以上の歴史を持ち、木造建築としては世界最古の規模を誇ります。ヒノキ材を巧みに使い、長期間の重さに耐える工夫がなされた建築技術の高さが、世界文化遺産の選定においても決定的な要素となりました。
問5	答え 1 中大兄皇子らは、蘇我氏による権力の独占を打破するために大化の改新を開始し、白村江の戦いで敗北を契機に、外敵への防衛を意識した中央集権体制の整備を急いだ。	645年、中大兄皇子（後の天智天皇）と中臣鎌足は、権勢を振るっていた蘇我氏を倒して天皇中心の政治改革（大化の改新）を始めました。その後、663年の白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗した日本は、対外的な緊張感から国内の支配体制を固める必要に迫られ、戸籍の作成や防人の配置など、中央集権国家としての仕組みを強化していきました。聖武天皇による国分寺建立は8世紀（奈良時代）の出来事であり、混同しないよう注意が必要です。
問6	答え 1 十七条の憲法の制定 → 公地公民の方針の提示 → 近江大津宮への遷都 → 藤原京への遷都	聖徳太子が役人の心得を示した十七条の憲法（604年）を制定した後、中大兄皇子らによる大化の改新（646年）で公地公民の原則が示されました。その後、天智天皇としての近江大津宮への遷都（667年）を経て、694年に持統天皇によって中国の都にならった本格的な都城である藤原京へと移りました。藤原京が大津宮よりも後の時期である点に注意が必要です。
問7	答え 1 東京スカイツリー	五重塔の内部には中心を貫く独立した「心柱」があり、各層と固定されていないために地震の際に揺れを相殺する役割を果たしています。この古代からの知恵は、高さ634メートルを誇る東京スカイツリーの設計において「心柱制振」という最新技術として活用されており、歴史的な伝統技術が現代の先端建築の安全性を支える貴重な事例となっています。
問8	答え 1 天武天皇の時代に、わが国最初の銅銭である富本銭が鑄造された。	7世紀後半の天武天皇の時代、国家としての体制を強化する一環として富本銭が作られました。これに続く708年には、武蔵国から銅が献上されたことを記念して和同開珎が発行されます。富本銭は主に儀礼用や限られた範囲での使用だったという説もありますが、わが国最初の「銅銭」という位置づけは歴史的に非常に重要です。